

精神・神経疾患研究委託費(15指-3)
「政策医療ネットワークを基盤にした神経疾患の総合的研究」班

(政策医療神経総合湯浅班)

平成16年度班会議
プログラム

日時：平成16年11月29日(月)12:50-21:00
平成16年11月30日(火) 8:20-16:50

発表者へのお願い

- ・発表時間は、討論を含め10分。加えて各セッション毎に短い総合討論が設定されています。
- ・1演題につきスライド10枚以内でご準備願います。
- ・発表はすべてPCで、液晶プロジェクター1台を準備します。CD-R(W)あるいはmemory stickで準備して下さい。MacとWindowsの両者に対応できるようにしておきます。
- ・動画を用いる方はご自分のPCをご持参願います。
- ・発表終了後ヒヤリング資料として用いますので、CD-R(W)そのものを提出頂くか、あるいは事務局PCに資料をコピーして提出して下さい。

主任研究員 湯浅龍彦

国立精神・神経センター国府台病院神経内科

千葉県市川市国府台 1-7-1

電話/FAX : 047-375-6310

会場：山崎企業年金基金会館 3階陽光の間

千葉県市川市市川 1-3-17

電話 047-321-3600

(JR総武線「市川」北口徒歩2分：東京駅から市川駅まで総武快速)

11月29日(月)

10:30~12:00 幹事会(会議室未定 マルシェ又は別の会議室を予約します)

12:50 開会の挨拶

13:00~14:10 セッション(1) 神経難病医療の質的向上・ネットワーク・在宅支援

-----座長 土井静樹(NHO札幌南病院)

1) 全国国立病院機構の神経難病病棟における療養状況 — 全国アンケート調査の報告・第2報 —

○土井静樹、輿水修一、南尚哉、藤木直人、島 功二

国立病院機構(NHO)札幌南病院神経内科

2) 進行期 Parkinson 病患者に対する教育・内服コントロール目的入院クリティカルパスに関する研究

植川和利、○栗崎玲一、小阪崇幸、丸吉夏英

NHO熊本南病院神経内科

3) 神経内科病棟に勤務する看護師の燃えつき傾向とストレス要因について:他病棟との比較を通して

土井静樹、○小野田あさみ¹⁾、奥山麻美¹⁾、君島幸子¹⁾、影井裕華¹⁾

NHO札幌南病院神経内科、1) 同看護部

4) 旭川地域における神経難病患者の在宅療養支援の現状と課題

○木村 隆、青木美江、藤原和彦、榎本博之、箭原 修

NHO道北病院神経内科

5) 離島における神経難病在宅療養推進の試み — 徳之島の難病患者の実態とその問題点 —

○園田至人、久保裕男¹⁾、内田裕一、丸田恭子、下川充芳、福永秀敏

NHO南九州病院神経内科、1) 同 児童指導員

6) 神経筋疾患の外出外泊時のリスク管理

本吉慶史、○吉田 誠¹⁾、松本訓子¹⁾、古舘 互¹⁾

NHO下志津病院 神経内科、1) 同 指導室

セッション(1)の総合討論(10分)

14:10~15:10 セッション(2) 疾患研究・治療研究-----座長 田中正美(NHO西新潟病院)

7) 神経 Sweet 病の診断基準

○久永欣哉

NHO宮城病院 神経内科・臨床研究部

8) 当院におけるパーキンソン病「びまん型」症例についての検討

○久永欣哉、及川崇紀、深津玲子、加藤昌昭、望月 廣、齋藤 博、鈴木博義¹⁾、今野秀彦²⁾

NHO宮城病院 神経内科・臨床研究部、1) NHO仙台医療センター

病理部/臨床研究部、2) NHO西多賀病院 神経内科/臨床研究部

9) 神経難病診療におけるインピーダンスオージオメトリーの意義について

○布施 滋、川井 充 NHO 東埼玉病院 神経内科

10) 核内封入体症における P62 蛋白

○渡辺千種、満岡恭子、鳥居剛、片山禎夫¹⁾、日地正典¹⁾、金成花¹⁾、松本昌泰¹⁾
NHO 原病院神経内科、1) 広島大学大学院脳神経内科

11) タウオパチーモデルマウス (P301S 変異タウ導入マウス) の解析

○吉山容正、新井公人 NHO 千葉東病院 神経内科

セッション (2) の総合討論 (10 分)

15:10-16:00 特別講演 (1)

座 長 松尾秀徳----- (NHO 長崎神経医療センター)

「進行性核上性麻痺とタウ遺伝子. 遺伝学的研究に展望はあるか」

○高野弘基

新潟大学 脳研究所 神経内科

休憩 10 分

16:10-17:00 セッション (3) SCD-----座 長 千田圭二 (NHO 岩手病院)

12) 多系統萎縮症における死因に関わる因子の検討

○酒井素子、久留 聡、木村正剛、若山忠士、小長谷正明¹⁾
NHO 鈴鹿病院神経内科、1) 同 施設長

13) MSA 多系統萎縮症症例におけるスピーチカニューレ使用の試み

○中村起也、神 一敬、千田圭二、阿部憲男
NHO 岩手病院 神経内科

14) 脊髄小脳変性症における呼吸機能障害に関する研究

○小牟禮 修、阪上芳男、齊田孝彦¹⁾
NHO 宇多野病院神経内科、1) 同 院長

15) 新規開発した上肢機能解析装置による小脳性運動失調の経時的評価

○安東範明、田里 博¹⁾
NHO 西奈良病院神経内科、1) (株) ユニメック開発部

セッション (3) の総合討論 (10 分)

17:00-18:15 夕 食 (各 自)

18:15-19:00 特別講演 (2)

座 長 湯浅龍彦 (NCNP 国府台)

「運動ニューロン疾患の病態と治療」

祖父江 元 教授

名古屋大学神経内科

19:00-21:00 ラウンドテーブルディスカッション

「わが国の ALS 医療をどう支えるか - NHO・NCNP の役割 -」

司 会 溝口功一/千田圭二/舟川 格

「ALS 医療の展望：神経ネットワークの役割」(10分)

湯浅龍彦 NCNP 国府台病院神経内科部長

「Japanese Consortium for ALS research (JaCALS)」(15分)

祖父江 元 名古屋大学神経内科教授

JaCALS 関連討論(25分)

休憩 10分

20:00-21:00 各施設からの報告と自由討論

旭川/札幌 西多賀/山形 犀潟/国府台 東名古屋/静岡 宇多野/兵庫中央

南岡山/徳島 長崎/鹿児島

テーマ

(現状、ALS 完全 follow up 体制/共通プロトコール、治験体制/brain bank/ALS 研修システム、

ALS 医療相談室、/在宅サポート、地区ネットワークなど)

一人 5 分程度で

11月30日(火)

8:20-9:20 セッション(4) ALS-1 -----座長 沖野惣一 (NHO金沢若松病院)

16) 筋萎縮性側索硬化症における気管切開後の早期離床についての提言

- 血液ガス検査からみた離床の条件 -

湯浅龍彦、○寄本恵輔¹⁾、小田嶋寛之¹⁾、根本英明、岩村晃秀、西宮 仁
NCNP 国府台病院神経内科、1) 同 リハビリテーション科

17) 呼吸障害で発症した ALS の臨床的研究 SCD

○舟川 格、陣内研二 NHO兵庫中央病院 神経内科

18) ALS 症例にける ventilator-associated pneumonia (VAP) 合併に関する研究

○信国圭吾、井原雄悦
NHO南岡山医療センター

19) 発声を重視した ALS の気切下人工呼吸管理 - 従来法よりも明瞭度が高く安全で安楽な方法 -

藤井正吾、○市原典子、三好まみ¹⁾
NHO高松東病院 神経内科、1) 同リハビリテーション科

20) 当院人工呼吸器装着 ALS 患者の 10 年間のまとめ

○溝口功一、寺田達弘、黒田龍、山崎公也、小尾智一
NHO静岡てんかん・神経医療センター神経内科

セッション(4)の総合討論(10分)

9:20 -10:10 セッション(5) ALS-2 --座長 溝口功一 (NHO静岡てんかん・神経医療センター)

21) ALS の死因に関する 2004 年アンケート調査結果報告

湯浅班 ALS の死因に関する調査研究グループ ○田中正美¹⁾、土井静樹²⁾、亀谷 剛³⁾、
溝口功一⁴⁾、饗場郁子⁵⁾、舟川 格⁶⁾、石田 玄⁷⁾、乾俊夫⁸⁾、信国圭吾⁹⁾、松尾秀徳¹⁰⁾、
塩屋敬一¹¹⁾

1) NHO西新潟中央、2) 札幌南病院、3) 山形病院、4) 静岡神経医療センター、
5) 東名古屋病院、6) 兵庫中央病院、7) 松江病院、8) 徳島病院、) 南岡山医療センター、
10) 長崎神経医療センター、11) 宮崎東病院

22) 筋萎縮性側索硬化症 (ALS) のための文書によるインフォームドコンセント改善の試み

○塩屋敬一、斉田和子、岸雅彦、隈本健司¹⁾、板井孝彦²⁾、外山博一³⁾、
中迫貴美子⁴⁾、浅井篤⁵⁾

NHO 宮崎東病院神経内科、1) 同施設長、2) 宮崎大学医学部哲学・倫理学教室、

3) 外山内科神経内科医院、4) 宮崎県難病医療連絡協議会、5) 京都大学大学院医学研究科

23) 呼吸管理についての事前指示書作成に関する検討

○石田 玄
NHO 松江病院 神経内科

24) ALS 患者の心理サポート — 自己決定過程において —

伊藤博明、○稲永光幸、平田さえ子、菅野理恵、伊藤智恵子、石原傳幸¹⁾

NHO 構箱根病院、1) 同 施設長

セッション (5) の総合討論 (10 分)

休憩 10 分

10:20-11:00 セッション (6) 摂食・嚥下障害・栄養-1 -----座 長 藤井正吾 (NHO 高松東病院)

25) ALS 患者の栄養管理はどの時期からおこなうべきか。一病期別栄養評価の比較 —

○野崎園子¹⁾、松尾秀徳²⁾、布施 滋³⁾、石田 玄⁴⁾、渡邊千種⁵⁾、金藤大三⁶⁾、

市原典子⁷⁾、箕田修治⁸⁾

1) NHO 刀根山病院神経内科* 現徳島病院神経内科/臨床研究部、2) NHO 長崎医療センター、

3) NHO 千葉東病院神経内科、4) NHO 松江病院神経内科、5) NHO 原病院神経内科、

6) NHO 西鳥取病院神経内科、7) NHO 高松東神経内科、8) NHO 熊本再春荘病院神経内科

26) 神経難病における栄養管理の検討 — 栄養評価と NST 設立の試み —

○沖野惣一、柳瀬大亮、倉野正志¹⁾、吉田真理¹⁾、水島典明²⁾

NHO 金沢若松病院神経内科、1) 同栄養部、2) 同施設長

27) 神経難病患者の経腸栄養剤と微量元素についての検討

○後藤勝政、島崎里恵、伊藤知子、佐藤紀美子

NHO 西別府病院神経内科

セッション (6) の総合討論 (10 分)

11:00-12:10 セッション (7) 摂食・嚥下障害・栄養-2 -----座 長 野崎園子 (NHO 徳島病院)

28) 安全な PEG への提言に向けて- 班員施設における PEG 実施状況とトラブル調査についての中間報告

○石田 玄

NHO 松江病院神経内科、湯浅班嚥下グループ

29) 経皮内視鏡下胃瘻造設術 (PEG) の合併症と防止対策

饗場郁子、○山岡朗子、齋藤由扶子、伊藤信二、後藤敦子、横川ゆき、見城昌邦、藤田麻子、

松岡幸彦、木全秀人¹⁾

NHO 東名古屋病院 神経内科、1) 同 外科

30) 神経難病患者の嚥下障害に対する喉頭気管分離術の有用性の検討 (II)

○箕田修治、菅 智宏、山下眞史、山口喜久雄、鮫島靖浩¹⁾、今村重洋

NHO 熊本再春荘病院神経内科、1) 熊本大学医学部附属病院耳鼻咽喉科・頭頸部外科

31) 嚥下障害に対する喉頭気管離断術の有用性の検討

松尾秀徳¹⁾、○小山和彦²⁾、福留隆泰¹⁾、高橋孝郎³⁾、澁谷統壽¹⁾

NHO 長崎神経医療センター 1) 神経内科、2) 呼吸器科、3) 呼吸器外科

32) 湯浅班班員施設における MSA の摂食嚥下障害調査報告および咀嚼による嚥下機能の変化について

○金藤大三、井上一彦、岡田浩子、後藤あかね、下田光太郎¹⁾

NHO 西鳥取病院神経内科、1) 同施設長

- 33) 神経・筋難病患者の家族からのクレームへの看護師の対応
○笠井厚子、岩崎弘幸、佐々木さえ子、富永明美、一本松由美子、村川和代
NHO 徳島病院看護部

セッション(7)の総合討論(10分)

12:10-13:10 昼食休憩(班員連絡会議-----司会 西宮 仁 NCNP 国府台病院)

13:10-14:00 セッション(8) 神経難病の合併症と対策-----座長 箕田修治(NHO熊本再春荘病院)

- 34) 慢性長期臥床気管切開神経難病患者の院内肺炎について

○亀谷 剛、津田丈秀、鯨井 隆¹⁾、圓谷建治
NHO 山形病院 神経内科、1) 同 内科

- 35) 人工呼吸器使用時の安全対策—過電流による作動停止事例への当院の対応—

○飛田宗重、割田 仁、宮澤幸仁 NHO米沢病院神経内科

- 36) 進行性筋萎縮症における下肢深部静脈血栓症

○川上英孝、中島 孝、亀井啓史、高橋哲哉、米持洋介、榛沢和彦¹⁾
NHO 新潟病院神経内科、1) 新潟大学大学院医歯学総合研究科生体機能調節医学専攻
器官制御医学

- 37) 誤嚥性肺炎の予防と医療経済

○田中正美 NHO 西新潟中央病院 神経内科・臨床研究部

セッション(8)の総合討論(10分)

14:00-15:00 セッション(9) 転倒転落—PEFS/PSP/iNPH他—座長 西宮 仁(NCNP 国府台病院)

- 38) 転倒・歩行障害における iNPH の意義: AD, Huntington, PSP, PEFS などを背景にもつ症例からの考察

西宮 仁、○岩村晃秀、根本英明、信太昭子、湯浅龍彦 NCNP 国府台病院神経内科

- 39) PSP における iNPH 的画像所見の重なりについて

○西宮 仁、岩村晃秀、根本英明、信太昭子、湯浅龍彦 NCNP 国府台病院神経内科

- 40) 神経難病患者における転倒・転落アセスメントの見直し

進行性核上性麻痺患者の転倒予防対策- 在宅中の情報収集による入院環境の改善-

○白井真弓、倉島明日香、深沢真一、渡部浩子、竹内肖子、田中正美
NHO 西新潟中央病院 神経難病病棟

- 41) 転倒リスクの評価に有用な質問票の開発(第1報)

小川雅文、○木島かおり、鍋田芳子、長谷川恵子、等々力信子、横瀬由子、岡崎光俊、
川井 充*、尾方克久
NCNP 武蔵病院、*現: NHO 東埼玉病院

- 42) 神経・筋疾患病棟における転倒・転落対策の現状と問題点
－神経・筋疾患政策医療ネットワーク研修会シンポジウムから－
饗場郁子¹⁾、○尾方克久²⁾、川井 充³⁾
1)NHO 東名古屋病院、2)NCNP 武蔵病院、3)NHO 東埼玉病院

セッション(9)の総合討論(10分)

休憩 15分

15:15-16:45 セッション(10) 転倒転落 湯浅班共同研究- 座長 饗場郁子(NHO東名古屋病院)
座長 舟川 格(NHO兵庫中央病院)

- 43) 神経疾患における転倒・転落の発生頻度－湯浅班転倒グループ共同研究－
○饗場郁子¹⁾、今 清覚²⁾、千田圭二³⁾、吉岡 勝⁴⁾、岡 伸幸⁵⁾、乾 俊夫⁶⁾、橋口修二⁶⁾、
尾方克久⁷⁾、川井 充⁷⁾
1) NHO 東名古屋病院、2) NHO 青森病院、3) NHO 岩手病院、4) NHO 西多賀病院、
5) NHO 南京都病院、6) NHO 徳島病院、7) NCNP 武蔵病院 (* 現 NHO 東埼玉病院)

- 44) パーキンソン病における転倒・転落の特徴と要因
○千田圭二¹⁾、中村起也¹⁾、神 一敬¹⁾、阿部憲男¹⁾、饗場郁子²⁾、今 清覚³⁾、吉岡 勝⁴⁾、
岡 伸幸⁵⁾、乾 俊夫⁶⁾、橋口修二⁶⁾、尾方克久⁷⁾、川井 充⁷⁾*
1) NHO 岩手病院、2) NHO 東名古屋病院、3) NHO 青森病院、4) NHO 西多賀病院、
5) NHO 南京都病院、6) NHO 徳島病院、7) NCNP 武蔵病院 * 現 NHO 東埼玉病院

- 45) 進行性核上性麻痺における転倒・転落の特徴と危険因子
○饗場郁子¹⁾、齋藤由扶子¹⁾、勇田絵里子²⁾、上田一乃²⁾、村井敦子²⁾、羽賀真琴²⁾、
今 清覚³⁾、千田圭二⁴⁾、吉岡 勝⁵⁾、岡 伸幸⁶⁾、乾 俊夫⁷⁾、橋口修二⁷⁾、
尾方克久⁸⁾、川井 充⁸⁾*
1)NHO 東名古屋病院、2) 同看護部、3) NHO 青森病院、4) NHO 岩手病院、
5)NHO 西多賀病院、6) NHO 南京都病院、7) NHO 徳島病院、8) NCNP 武蔵病院
* 現 NHO 東埼玉病院

- 46) 多系統萎縮症における転倒の特徴と危険因子
乾 俊夫¹⁾、○橋口修二¹⁾、馬木良文¹⁾、足立克仁¹⁾、竹本洋子²⁾、饗場郁子³⁾、
今 清覚⁴⁾、千田圭二⁵⁾、吉岡 勝⁶⁾、岡 伸幸⁷⁾、尾方克久⁸⁾、川井 充⁸⁾*
1) NHO 徳島病院、2) 同 看護部、3) NHO 東名古屋病院、4) NHO 青森病院、
5) NHO 岩手病院、6) NHO 西多賀病院、7) NHO 南京都病院、8) NCNP 武蔵病院
* 現 NHO 東埼玉病院

- 47) 筋萎縮性側索硬化症における転倒・転落の特徴と危険因子
今 清覚¹⁾、○佐々木道代²⁾、片山智佳子²⁾、藤田裕美²⁾、種市尚子²⁾、小山慶信¹⁾、
高田博仁¹⁾、饗場郁子³⁾、千田圭二⁴⁾、吉岡 勝⁵⁾、岡 伸幸⁶⁾、乾 俊夫⁷⁾、橋口修二⁷⁾、
尾方克久⁸⁾、川井 充⁸⁾*
1) NHO 青森病院、2) 同 看護部、3) NHO 東名古屋病院、4) NHO 岩手病院、
5) NHO 西多賀病院、6) NHO 南京都病院、7) NHO 徳島病院、
8) NCNP 武蔵病院 * 現 NHO 東埼玉病院

48) ニューロパチーにおける転倒・転落の特徴と危険因子

○岡 伸幸¹⁾、杉山 博¹⁾、饗場郁子²⁾、今 清覚³⁾、千田圭二⁴⁾、吉岡 勝⁵⁾、乾 俊夫⁶⁾、橋口修二⁶⁾、尾方克久⁷⁾、川井 充^{7)*}

1)NHO南京都病院、2) NHO東名古屋病院、3) NHO青森病院、4) NHO岩手病院、5) NHO西多賀病院、6) NHO徳島病院、7)NCNP 武蔵病院* 現 NHO東埼玉病院

49) 神経疾患における転倒の合併症 -湯浅班転倒グループ共同研究-

○吉岡 勝¹⁾、饗場郁子²⁾、今 清覚³⁾、千田圭二⁴⁾、岡 伸幸⁵⁾、乾 俊夫⁶⁾、橋口修二⁶⁾、尾方克久⁷⁾、川井 充^{7)*}、木村 格¹⁾、今野秀彦¹⁾、今井尚志¹⁾、大隅悦子¹⁾、高橋俊明¹⁾、宮里節子¹⁾、榎崎信子¹⁾

1) NHO西多賀病院、2) NHO東名古屋病院、3) NHO青森病院、4) NHO岩手病院、5) NHO南京都病院、6) NHO徳島病院、7)NCNP 武蔵病院* 現 NHO東埼玉病院

セッション(10)の総合討論(20分)

16:45-16:50 閉会の辞

班会議後の各種打ち合わせ会議

テーマ別各種委員会 17:00-18:30

17:00-17:30 陽光の間前側	転倒・転落委員会
陽光の間後側	摂食・嚥下障害委員会
17:30-18:00 陽光の間前側	PSP小委員会(2/5公開講座打ち合わせ)
陽光の間後側	独法化前後の変化検討会(松尾先生)

17:00-18:00 NHO/NCNP神経難病病棟看護連絡会議(第2回)

18:00-20:00(マルシェ)神経疾患摂食・嚥下障害・栄養研究会発会準備幹事会
